

(様式 3-1)

技術・家庭科<分野>学習指導案

* ↑分野の例 技術分野 家庭分野

平成 年 月 日 () 校時

会 場 :

指導者 : 中学校

教諭 ○○○ ○○

指導学級 : 年 組 名

1 題材名 「 題材名 」

～ 副 題 (あれば) ～

<学習指導要領 内容, 項目, 事項(, ○学年○○時間)>

* ↑例 材料と加工に関する技術 (3) ア, イ

2 題材の指導目標

* この題材で育成したい力についての説明

3 題材について

(1) 題材観

* この題材はどんな内容か。

* 教師はどのように本題材を分析しており, どのように扱いたいのか。

* 有効性と留意点, 必要なレディネス等。

(2) 生徒観 *別紙資料でも可(実態調査結果, レディネスの調査結果等を表やグラフで)

* 生徒の実態(事前のデータを踏まえて)

* 育てたい力と指導上の留意点

(3) 指導観

* この題材を指導する上でのポイント, 留意点

* 題材と生徒の実態を踏まえた教師の指導方針

育成したい力 *本題材において「よりよい生活のための実践力」を踏まえた4観点

- ◇
- ◇
- ◇
- ◇

(4) 研究主題との関連

* 本題材と研究主題や副題との関連性

* 本題材が育む「よりよい生活のための実践力」について

4 題材の指導計画

題材「 題材名 」

～副 題～

小題材	時数	時間	指導内容	指導項目
1	2	2	(1)	B(3)ア, イ
2	3	1	(1)	
		2	(2) *	(本時 1/2)

5 題材の評価規準

題材「 題材名 」
～副 題～

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解

6 題材の指導内容と評価の計画 * A 4 横別紙

7 本時の指導計画

- (1) 本時の題材「 」
- (2)
- (3) 本時の指導の工夫 * 授業者の思いや工夫点を記載し、授業の山場が分かるようにする。
- (4) 本時の具体の評価規準 * 6 題材の指導内容と評価の計画と連動させる。
- ① ○○○を理解している。
(評価の観点) 評価方法
- ② ○○○ができる。
(評価の観点) 評価方法
- (5) 本時の指導過程 * 段階は、研究の実態に合わせて変更する。* フォントサイズは最低 8 ポイント

段階	学習活動	生徒の活動	□ 指導上の留意点 * 資料・準備物など	評価計画	
				規 準	方 法
課題 把握 5 分	1 前時の学習内容の確認 2 本時の学習内容の確認	(1) 前時の学習結果を踏まえ、本時の学習目標が理解できる。	□ 出席と準備物の確認。 □ 前時の学習を確認する。 □ 学習シートを配布し、本時の学習内容を確認する。 * 学習シート	①	□ 挙手 □ 発言など
課題 追求 25 分	3 4	(2)	「気づく」場面 「考える」場面 「築く」場面は罫線で囲む など分かりやすくする。	① ②	□ 学習シート □ 個別指導 □ 挙手 □ 発言 □ 観察など
課題 解決 10 分	5 6	(3)		① ②	
まとめ 10 分	7	(4)		②	

* 指導案づくりのポイントとして、評価の手だてがしっかりしている事。研究主題に迫るための内容が指導過程からも感じられること。授業者が考える山場がはっきり分かること等があげられます。